

やまだ防災だより

第12版 令和8年2月15日
発行・編集
山田町総務課 危機管理室
0193-82-3111
内線415

北海道・三陸沖後発地震注意情報について

令和7年12月8日23時15分ごろ、青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5（気象庁暫定値）の地震が発生し、青森県の八戸市で震度6強の揺れを観測したほか、北海道から岩手県にかけて津波警報が発表されました。

この地震を受け、気象庁は新たな大規模地震の発生の可能性が普段より高まったとして「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。これは先発地震の発生から一週間程度、地震への備えの再確認や迅速な避難誘導の準備を促すものです。実際に後発地震が発生する確率は、世界の事例を踏まえても100回に1回程度と低いものの、発生した場合には北海道から千葉県にかけての広い範囲で甚大な被害が想定されます。情報が発信されたら、地震への備えを再確認しましょう。

■政府からの呼び掛けの期間は終了しましたが、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではありません。

■先発の地震がなく、突発的に大規模地震が発生する可能性もあります。

■今回の対応も活かしながら、避難場所・避難経路の確認や家具等の固定など、日頃からの地震への備えについては引き続き実施してください。



日本海溝・千島海溝沿いの
巨大地震の想定震源域

想定震源域及び
その周辺(Mの大きさが変わる)で
M7.0以上の大地震が起きたら…

↓

続いて発生する巨大地震の可能性！
情報で備えを

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発信

↓

通常の生活を
しながら、1週間程度
巨大地震に備える

※M：地震の規模を表すマグニチュード

皆さんがとるべき行動

迅速な避難体制の準備

- 地域のハザードマップでどのような危険があるかを確認する
- 安全な避難場所、避難経路等を確認する
- 家族との連絡手段を決めておく
- 非常持出品を準備しておく



室内の対策

- 窓ガラスの飛散防止対策をする
- タンス類・本棚の転倒防止対策をする
- ベッド頭上に物を置かない



地震発生後の避難生活の備え

- 水や食料の備蓄を多めに確保する
- 簡易トイレを用意する
- 携帯ラジオや携帯電話の予備バッテリー等を準備する。

防災用品を身近な場所に備えましょう

- 火災警報器の電池切れがないことを確認する
- 漏電遮断機や感震ブレーカー等を設置する

停電時に使用する懐中電灯や割れたガラスでのけがを防止するスリッパ、救助を求めるためのホイッスルなどは、手の届くところに備えましょう。



ハザードマップで再確認！

津波浸水想定区域や避難所は山田町総合防災ハザードマップで確認できます。お持ちでない世帯は、お問い合わせください。



令和8年5月下旬(予定)に気象の警報などが大きく変わります

気象庁では、令和8年5月下旬(予定)から新たな防災気象情報の運用を開始します。これまで河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報等は、警戒レベルとの対応が複雑でわかりにくくなっていましたが、今回の改善により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断をしやすくなります。

例えば、これまでの大雨警報は、「レベル3大雨警報」という名称に変更になり、レベルの数字と一緒に情報が伝えられます。レベル4やレベル3の情報が発表された場合には、キキクルや河川の水位情報等の情報を確認して早めの避難を心がけてください。

新しい防災気象情報の具体的な内容や改善点は、下記リンクの気象庁特設ページをご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとに) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難! >					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

出典:気象庁ホームページ



季節の変わり目は非常持出品の内容を見直しましょう

いつ災害が発生しても、安全安心な避難ができるよう、季節ごとに避難に必要なものを見直しましょう。特に冬期間の避難では寒さ対策が不可欠ですので、防寒着や帽子、マフラー、手袋、防寒靴、携帯カイロなどは、必ず用意しておきましょう。

また、夜間に避難する可能性もありますので、懐中電灯、ヘッドライトなどの明かりとなるものや帽子、手袋といった頭や手足を保護するものも準備しておきましょう。

☆非常持出品の例については山田町ホームページや山田町総合防災ハザードマップをご覧ください。



いざというときに使用できるよう日頃から確認を

町からの情報等を「インフォやまだ」で確認しましょう

町では、防災無線での放送内容や避難情報などを町民の皆さんにお知らせするため、情報配信システム「インフォやまだ」を運用しています。

「インフォやまだ」は、お持ちのスマートフォンなどで利用することができます。どこにいても情報を受け取ることができ、配信履歴も残るので、何度でも読み返すことができます。

右記QRコードから各アプリストアにアクセスし、登録をお願いします。



Android端末



iPhone端末など

※山田町総合防災ハザードマップには地震災害のほか、さまざまな防災対策を掲載していますので日頃の備えに活用しましょう。